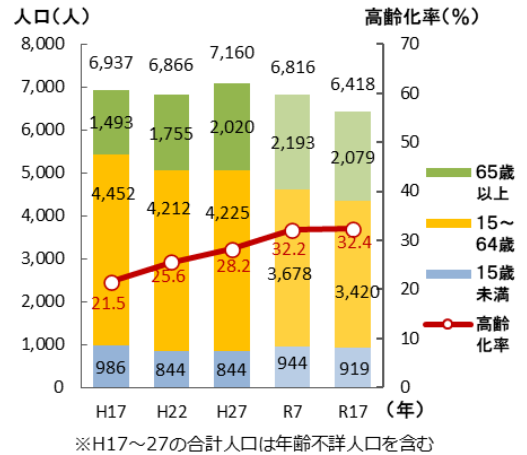


## 2-10. 江上地域のまちづくり構想

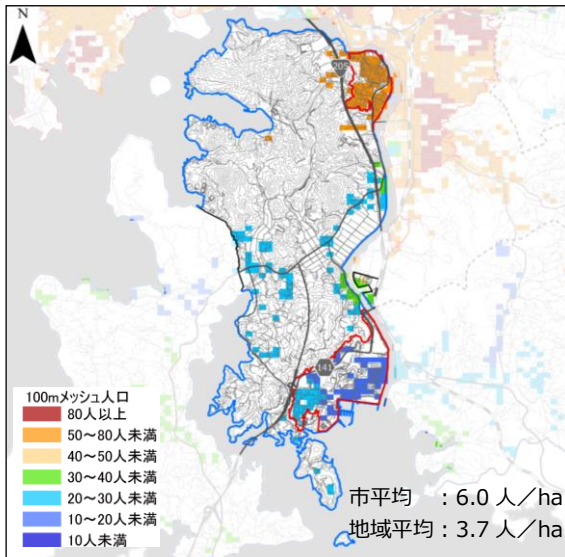
### (1) 地域の概況

- 江上地域は、江上支所管内を対象とした約 1,931ha の面積を有する地域です。
- 人口は、平成 27 年の国勢調査において 7,160 人で、平成 17 年と比べ約 3%増加しており、ハウステンボス地区で人口増加が著しくなっています。
- 高齢化率は 28.2%で、市平均をわずかに下回っています。

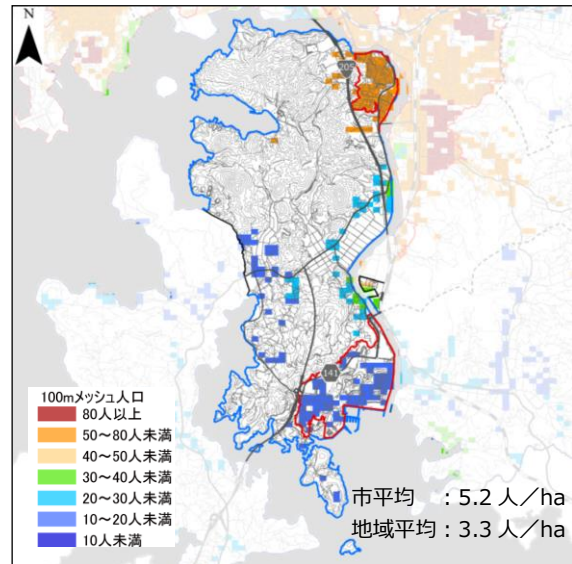
[人口推移及び年齢3区分人口比]



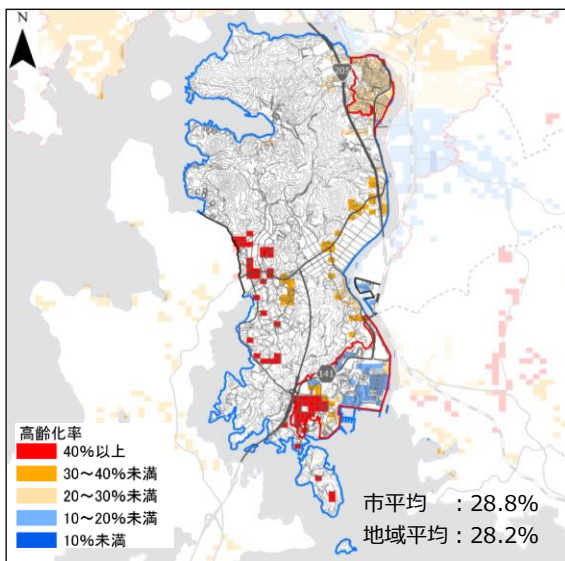
[人口密度 (H27)]



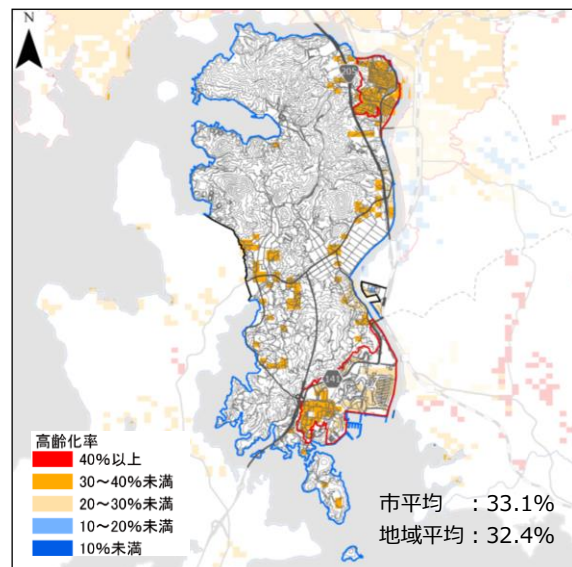
[人口密度 (R17)]



[高齢化率 (H27)]



[高齢化率 (R17)]



(出典：国勢調査)

※R17 (2035) は、国立社会保障・人口問題研究所(平成 30 年 3 月推計)に基づく。

## (2) 地域の特性と主要課題

## 地域の特性

- 当地域は、針尾島の北東部に位置し、地域の南側には国内外から多くの人を訪れる国際観光拠点であるハウステンボスが立地しています。
- 国道 205 号の針尾バイパスや瀬戸中央橋の整備により、大塔地域や早岐地域への利便性が向上し、あわせて、西海パールラインにより、西海市方面からの交通の利便性が高まっています。
- ハウステンボス地区や有福地区では戸建て住宅やマンションが立地しています。
- 地域の中央部では農業が営まれており、西海みかんや江上文旦の生産が行われています。

## 地域の主要課題

● 安全で快適な生活を支える居住環境の充実

当地域では、近年ハウステンボス地区などで人口が微増しているものの、今後は人口減少に転じる予測となっており、公共交通サービスの徒歩圏カバー率も低い状態です。また、小売店舗、医療施設、バス便数がいずれも減少する一方、早岐地域や日宇地域の日常的な生活サービス機能の一部を利用している状況です。

市街化調整区域での宅地化が進行しており、集落環境とのバランスや災害リスクの低減に配慮した土地利用の誘導が求められます。

● 農業を活かした活力の創出

当地域は、西海みかんの生産など農業が地域産業となっており、農業を活かした活力の創出が求められます。

● 観光拠点におけるにぎわいの創出

ハウステンボスは、通年を通して多様なイベントが開催され、国内外から多くの人を訪れる国際観光拠点であり、今後も、本市のみならず九州の主要な観光地として、その周辺を含めたにぎわいを高める市街地の形成が求められます。

## (3) 地域の将来像とまちづくりの主な視点

## 地域の将来像

観光拠点や住宅地などの市街地と  
自然豊かな集落地が調和したまちづくり

## 地域の生活スタイル

- ・支所周辺の郊外生活核では身近なサービス施設や既存施設を活かした地域コミュニティの場がある。
- ・周辺にある海や山、川の豊かな自然環境の近くでのゆとりある住まい、地域で支えあいながら、自然環境に溶け込んだ住まいがある。
- ・自家用車利用で、郊外生活核や地域核の都市サービスを受けることができる。
- ・良好な自然や農地等が保全され、地域内外の人が自然や農水産業とのふれあいを楽しむことができる。

## 地域のまちづくりの主な視点

- 安全で快適に暮らせる住みよいまちづくり  
地域の日常生活を支える生活サービス機能の維持・充実にあわせ、地域のニーズや需要に見合った地域公共交通の維持・利便性の向上など安全で快適なまちづくりを目指します。
- 国際観光拠点を活かしたにぎわいのあるまちづくり  
ハウステンボス及びその周辺では、国際観光拠点にふさわしい市街地を形成し、多くの人を訪れるにぎわいのあるまちづくりを目指します。
- 農業を活かした活力のあるまちづくり  
西海みかんや江上文旦の生産が行われている農業を守り、活力のあるまちづくりを目指します。

## (4) 地域のまちづくり方針

## 地域におけるまちづくりの基本的方針

当地域は、農業を中心とした既存の集落地が形成されており、北部に住宅団地が、南部には国際観光拠点であるハウステンボスが立地し、その周辺に新しい住宅地が形成されています。

今後は、それぞれの特性を活かし活力を創出するまちづくりとあわせ、地域の一体性を高め安全で快適に暮らせるまちづくりを進めていくものとします。

## 地域のまちづくりの方針

● 安全で快適に暮らせる住みよいまちづくり

## ① 地域の日常生活を支える郊外生活核の形成

江上支所周辺を郊外生活核と位置づけ、既存の公共公益施設の集積を活かし、現状の都市機能の維持、小さな拠点の形成を図ります。

## ② 豊かな自然環境を活かした憩い空間の形成

早岐瀬戸や飯盛山などの豊かな自然環境を保全するとともに、自然と親しめる地域の憩いの空間としての活用を図ります。

## ③ 安全で円滑な交通機能の維持・利便性向上

他の地域への公共交通機関の維持・利便性向上を図るとともに、地域内の移動手段の確保を図ります。また、地域内の道路においては、幹線道路へのアクセス機能の向上を図ります。

## ④ 安全でゆとりある居住環境の形成

災害危険性の高いエリアでの宅地化を抑制するとともに、地域が主体となった防災活動への支援を図ります。

● 国際観光拠点を活かしたにぎわいのあるまちづくり

## ⑤ にぎわいのある国際観光拠点の形成

ハウステンボス及びその周辺では、国際観光拠点にふさわしい市街地景観の形成を図ります。また、商業・業務地では、周辺の住宅環境に配慮しながら観光拠点にふさわしい適正な土地利用の誘導を図ります。

国際観光拠点としての円滑な交通環境の形成を図るため、交通アクセスの強化に資する整備を促進します。

● 農業を活かした活力のあるまちづくり

## ⑥ 農業を活かした活力の創出

地域産業である農地の保全・活性化、円滑な継承を図るとともに、地域内外の交流の場としての活用を図ります。

# 江上地域のまちづくり方針図

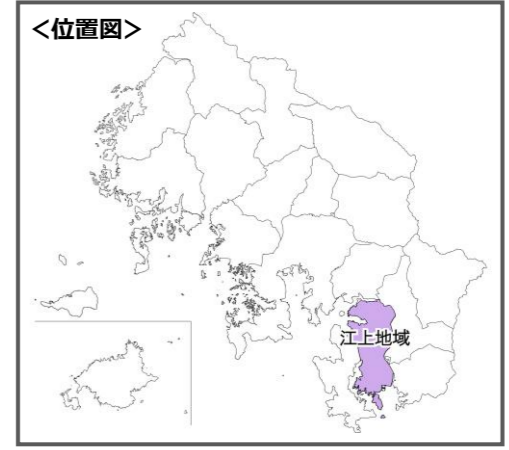
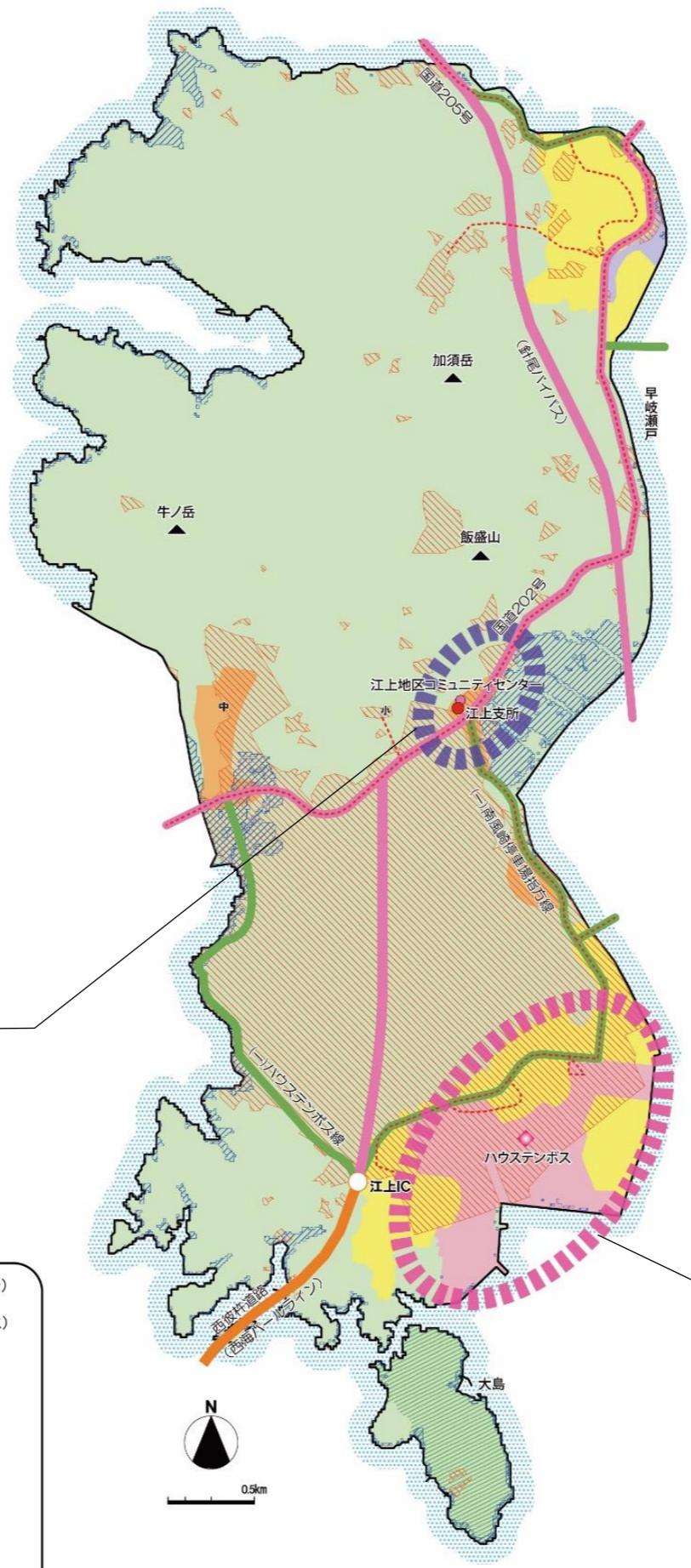
**〈自然環境共生地〉**  
**⑥農業を活かした活力の創出**  
 <想定される取組>  
 ○農地の保全・活性化、円滑な継承などによる活用促進  
 ★生産者市場の開設による地産地消の取組み  
 ★農業体験の場づくり（学校行事との連携など）

**②豊かな自然環境を活かした憩い空間の形成**  
 <想定される取組>  
 ○飯盛山などの自然環境の保全  
 ○牛ノ岳周辺の黒曜石や陶石の産地の保全  
 ★ホタル、メダカなど水生生物の生息地の保全

**〈住宅地・集落地〉**  
**④安全でゆとりある居住環境の形成**  
 <想定される取組>  
 ○災害危険性の高いエリアでの宅地化抑制  
 ○円滑な移動を支える道路の改善  
 ★既存施設などを活かした憩いや交流の場の創出  
 ★地域防災力の強化

**郊外生活核**  
**〈江上支所周辺〉**  
**①地域の日常生活を支える郊外生活核の形成**  
 <想定される取組>  
 ○現状の都市機能の維持  
 ○小さな拠点の形成

商業・業務地	市役所	高規格幹線道路	災害リスクエリア（土砂）
工業地	支所・行政センター	地域高規格道路	災害リスクエリア（浸水）
住商共存地	コミュニティセンター	主要幹線道路	
住宅地（用途地域内）	教育・文化施設	主要な道路	
郊外住宅地（用途地域外）	小 小学校	鉄道	
自然環境共生地	中 中学校	国際航路	
保全すべき緑地	学 その他の主な学校	航路	
海岸	保健福祉施設	基幹バスルート	
観光施設	その他主な公共施設	河川	
特色ある公園	文化財・史跡		
主な公園			
主な運動施設			



**〈早岐瀬戸〉**  
**②豊かな自然環境を活かした憩い空間の形成**  
 <想定される取組>  
 ○早岐瀬戸の適切な環境保全策の推進（浚渫等）  
 ★早岐瀬戸沿岸の植栽による憩い空間の創出

**〈交通機能〉**  
**③安全で円滑な交通機能の維持・利便性向上**  
 <想定される取組>  
 ○国際観光拠点にふさわしい交通アクセス向上策の検討  
 ○地域内の円滑な移動を支える交通機能の充実  
 ○地域公共交通利用促進策の検討  
 ★地域公共交通の利用

**〈ハウステンボス及びその周辺〉**  
**⑤にぎわいのある国際観光拠点の形成**  
 <想定される取組>  
 ○周辺の住宅環境に配慮した観光拠点にふさわしい適正な土地利用の誘導  
 ○国際観光拠点にふさわしい市街地景観の形成

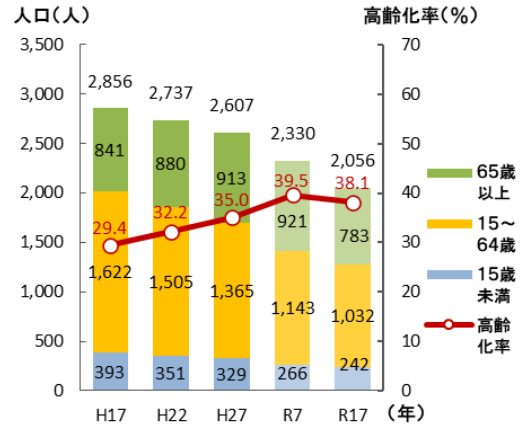
**凡例**  
 <想定される取組>  
 ★印は、主に地域や民間が主体となった取組が期待されるもの。

## 2-11. 針尾地域のまちづくり構想

### (1) 地域の概況

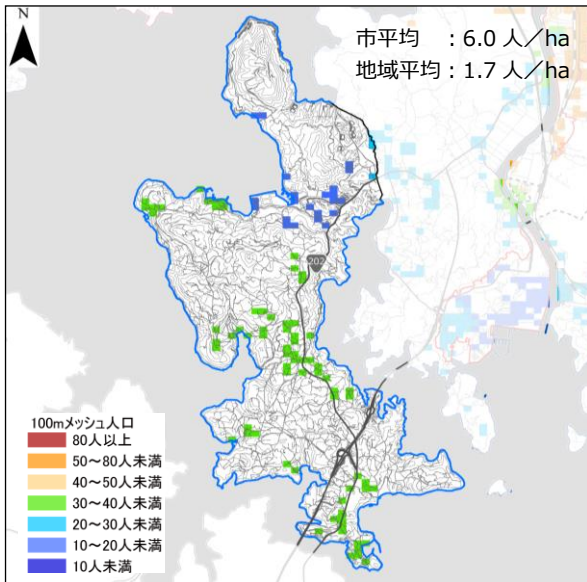
- 針尾地域は、針尾支所管内を対象とした約 1,512ha の面積を有する地域です。
- 人口は、平成 27 年の国勢調査において 2,607 人で、平成 17 年と比べ約 9%減少しています。
- 人口密度は市平均を下回っています。
- 高齢化率は 35.0%で、市平均を上回っています。

[人口推移及び年齢3区分人口比]

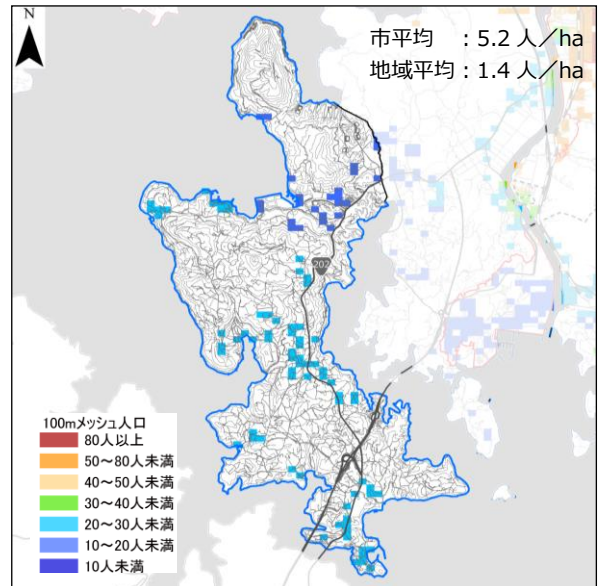


※H17～27の合計人口は年齢不詳人口を含む

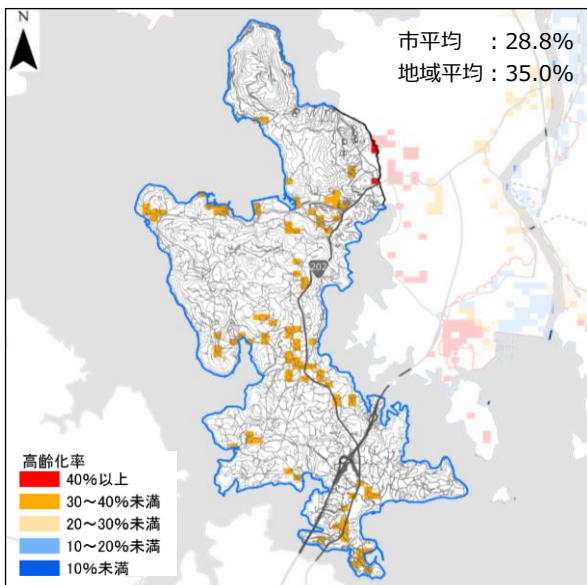
[人口密度 (H27)]



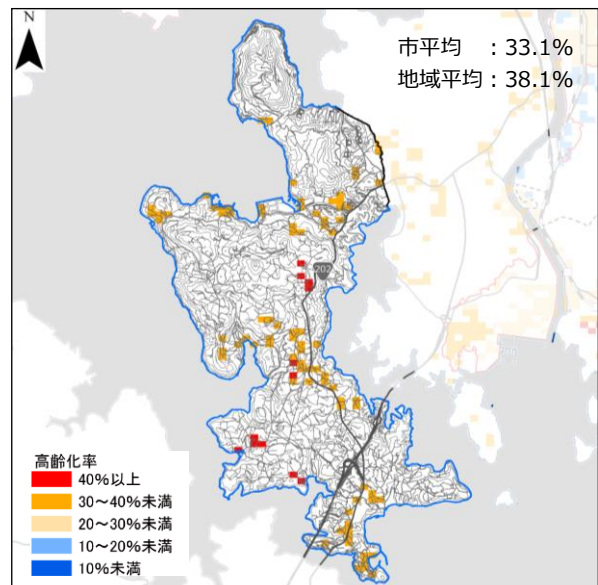
[人口密度 (R17)]



[高齢化率 (H27)]



[高齢化率 (R17)]



(出典：国勢調査)

※R17 (2035) は、国立社会保障・人口問題研究所(平成 30 年 3 月推計)に基づく。

## (2) 地域の特性と主要課題

## 地域の特性

- 当地域は、針尾島の南西側に位置し、西海市方面からの玄関口となっています。
- 浦頭に新たに施設整備を行い、国際クルーズ船の拠点化を目指しています。
- 佐世保湾や大村湾を望むことができる虚空蔵山や西海橋公園、浦頭引揚記念平和公園、針尾無線塔などの特色ある地域資源を有しています。
- 地域を南北に国道 202 号が縦断しており、国道沿いに支所や小学校などの公共公益施設が集積し、道路沿線に生活利便施設が立地（点在）しています。
- 西海みかんや長崎和牛の生産、漁業が盛んな地域であり、農業集落や漁業集落が点在しています。

## 地域の主要課題

- 自然眺望や歴史文化資源を活かした地域外との交流の増進  
当地域は、西海橋公園や虚空蔵山公園など自然眺望が豊かな公園をはじめ、浦頭引揚記念平和公園や針尾無線塔など特色ある歴史文化資源を有しており、これらを活かした地域外との交流の増進を図っていますが、以前よりも立ち寄り客などが減少しており、集客性の向上が求められています。
- 地域の農水産業を活かした活力の創出  
当地域は、農業と漁業が基幹産業になっており、ブランド化などの高付加価値化を進めている一方、一部では担い手の減少などによる事業継承や資源の適正管理などの課題を抱えています。
- 安全で快適な生活を支える居住環境の充実  
当地域は、小売店舗、医療施設、バス便数のいずれも減少しており、日常的な生活サービスは早岐地域や隣接する西海市の施設を利用している状況です。これらは重要かつ満足度の低いものとなっており、人口減少の中で生活サービスを維持し、居住環境の快適性を確保することが課題となっています。

## (3) 地域の将来像とまちづくりの主な視点

## 地域の将来像

特色ある自然と歴史を守り、活力ある農業を活かした魅力あふれるまちづくり

## 地域の生活スタイル

- ・支所周辺の郊外生活核では身近な生活サービス施設や、既存施設を活かした地域コミュニティの場がある。
- ・自家用車利用で、早岐地域や隣接市の多様な都市サービスを受けることができる。
- ・周辺にある海や山の豊かな自然環境や農業や漁業など働く場所に密接したゆとりある住まいで、地域で支えあいながら自然環境に溶け込んだ暮らしがある。
- ・農業や歴史的資源を活かして、地域内外の人がふれあい、交流する場がある。

## 地域のまちづくりの主な視点

- 安全で快適に住み続けられるまちづくり  
地域の日常生活を支える生活サービス機能の維持・充実にあわせ、地域のニーズや需要に見合った地域公共交通の維持、災害リスクの低減などによって、地域住民が安全で快適に住み続けられるまちづくりを目指します。
- 特色ある自然や歴史文化資源を活かした交流のまちづくり  
針尾瀬戸、虚空蔵山などの自然資源や、浦頭引揚記念平和公園、針尾無線塔などの歴史文化資源を守り、交流のまちづくりを目指します。
- 農水産業、港を活かした活力あるまちづくり  
地域の基幹産業となっている農水産業を守り、活かすとともに、新たに整備した港湾機能により国際クルーズの拠点として、地域の活力を生み出すまちづくりを目指します。



## (4) 地域のまちづくり方針

## 地域におけるまちづくりの基本的方針

当地域は、西海橋公園や虚空蔵山公園といった眺望が豊かな公園や浦頭引揚記念平和公園や針尾無線塔といった歴史文化資源を有しています。

また、地域には西海みかんの産地である果樹園が広がり、海岸部には漁業集落が点在しています。さらに、浦頭地区では、新たに整備した港湾施設による国際クルーズ拠点としての活性化が求められています。

今後は、このような魅力ある地域資源を守り活かした交流の促進や生活基盤の充実によって活力があり安全で快適に住み続けられるまちづくりを進めていくものとします。

## 地域のまちづくりの方針

● 安全で快適に住み続けられるまちづくり① 地域の日常生活を支える郊外生活核の形成

針尾支所周辺を郊外生活核として位置づけ、現状の都市機能の維持に努めるとともに、小さな拠点の形成を図り、地域内交流の中心の場としての活用を図ります。

② 安全で円滑な交通機能の維持・利便性向上

他の地域への移動を支える公共交通機関の維持・利便性向上や地域内の移動手段の確保を図ります。

③ 安全でゆとりある居住環境の形成

災害危険性の高いエリアへの宅地化を抑制するとともに、地域が主体となった防災活動への支援を図ります。

● 特色ある自然や歴史文化資源を活かした交流のまちづくり④ 自然環境や歴史文化資源の保全と活用

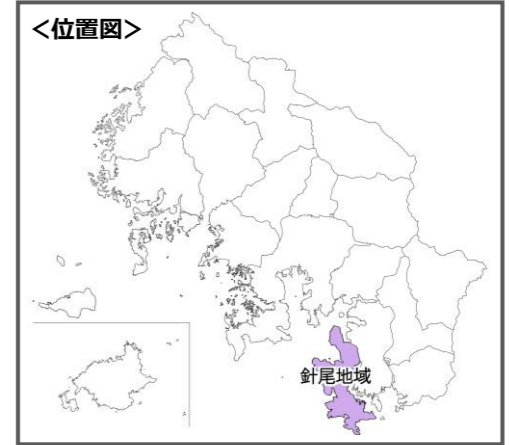
針尾瀬戸や虚空蔵山公園など豊かな自然環境の保全を図るとともに、針尾無線塔や浦頭引揚記念平和公園などの歴史文化資源の保存とガイダンス機能の強化により、地域内外との交流の場としての活用を図ります。

● 農水産業、港を活かした活力あるまちづくり⑤ 農水産業、港湾を活かした活力の創出

地域の特産品である西海みかんや長崎和牛の生産の場となっている農地の保全を図るとともに、既存施設や港湾整備を活かした交流・にぎわいの場の創出を図ります。

浦頭地区では、関係機関、団体と連携し、国際クルーズ拠点としての活用を図ります。

# 針尾地域のまちづくり方針図

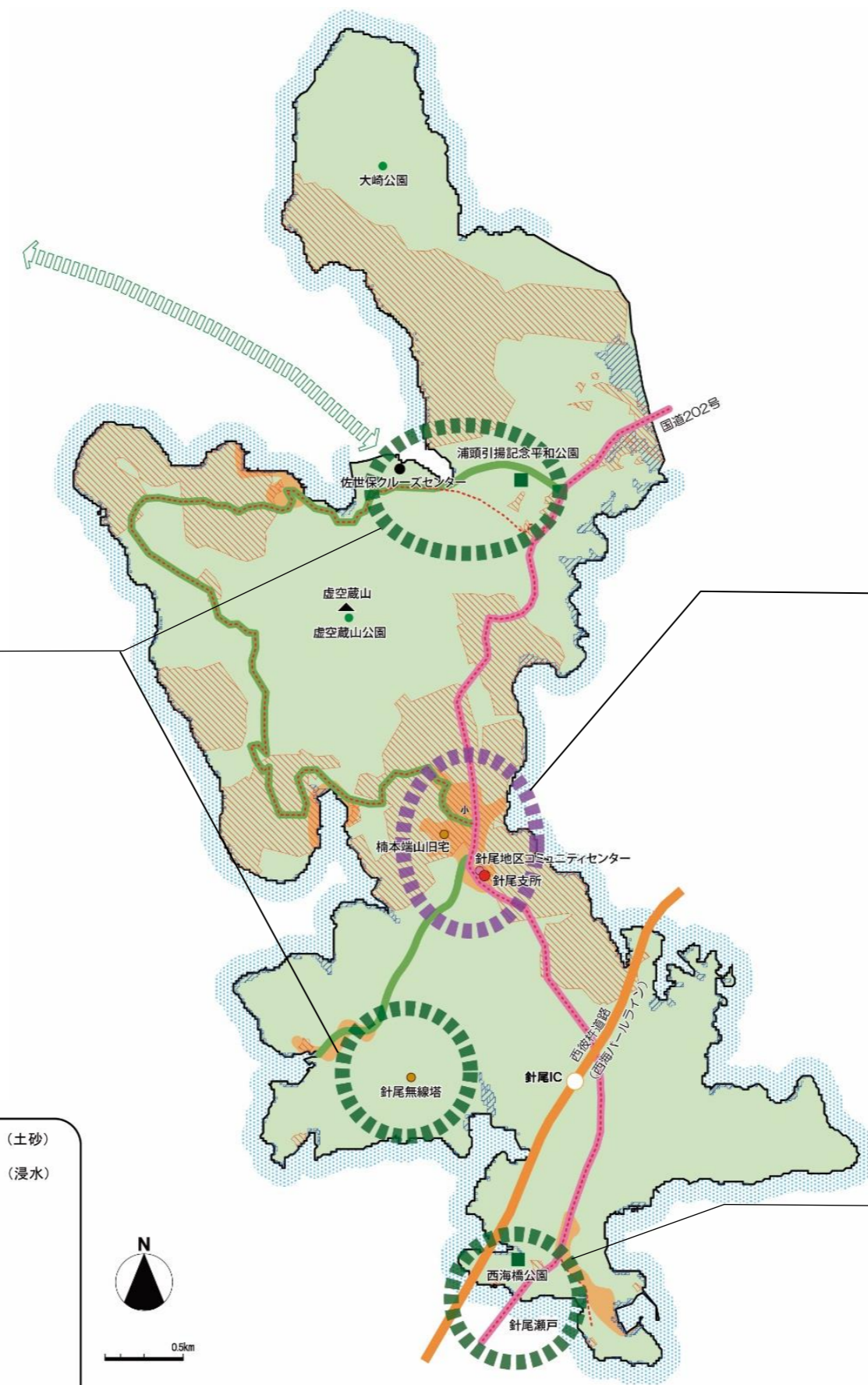


**〈自然環境共生地〉**  
**④自然環境や歴史文化資源の保全と活用**  
 <想定される取組>  
 ○虚空蔵山などの自然環境の保全  
 ★虚空蔵山からの眺望を維持

**⑤農水産業、港灣を活かした活力の創出**  
 <想定される取組>  
 ○西海みかんなどの生産の場となる農地の保全  
 ○農地の継承にかかる課題解決・支援

**〈浦頭引揚記念平和公園及び針尾無線塔周辺〉**  
**④自然環境や歴史文化資源の保全と活用**  
 <想定される取組>  
 ○歴史的建造物の保全、良好な景観形成  
 ★針尾無線塔、浦頭引揚記念平和公園など地域資源を活かしたガイド機能の強化

**〈海岸線〉**  
**⑤農水産業、港灣を活かした活力の創出**  
 <想定される取組>  
 ○水産業の場の保全  
 ○国際クルーズ拠点としての港灣機能の活用（浦頭地区）  
 ★港灣整備を活かしたにぎわい・交流の場の創出



**郊外生活核**  
**〈針尾支所周辺〉**  
**①地域の日常生活を支える郊外生活核の形成**  
 <想定される取組>  
 ○現状の都市機能の維持  
 ○小さな拠点の形成  
 ○公共交通機関の維持・利便性向上  
 ○地域内の円滑な移動を支える交通機能の充実  
 ★既存の公共施設を有効利用した地域内の交流の創出

**〈集落地〉**  
**②安全で円滑な交通機能の維持・利便性向上**  
 <想定される取組>  
 ○地域公共交通利用促進策の検討  
 ★地域公共交通の利用  
 ★交通不便地区対策の充実（乗合タクシー等）

**③安全でゆとりある居住環境の形成**  
 <想定される取組>  
 ○災害危険性の高いエリアでの宅地化抑制  
 ○生活基盤施設の防災性の強化  
 ★ハザード情報の共有など地域防災力の強化

**〈西海橋及びその周辺〉**  
**④自然環境や歴史文化資源の保全と活用**  
 <想定される取組>  
 ○針尾瀬戸の自然環境の保全  
 ★既存施設を活かした物販機能の充実

**凡例**  
 <想定される取組>  
 ★印は、主に地域や民間が主体となった取組が期待されるもの。

商業・業務地	市役所	高規格幹線道路	災害リスクエリア（土砂）
工業地	支所・行政センター	地域高規格道路	災害リスクエリア（浸水）
住商工共存地	コミュニティセンター	主要幹線道路	
住宅地（用途地域内）	教育・文化施設	主要な道路	
郊外住宅地（用途地域外）	小 小学校	鉄道	
自然環境共生地	中 中学校	国際航路	
保全すべき緑地	学 その他の主な学校	航路	
海岸	+ 保健福祉施設	基幹バスルート	
観光施設	● その他主な公共公益施設	河川	
特色ある公園	● 文化財・史跡		
主な公園			
主な運動施設			

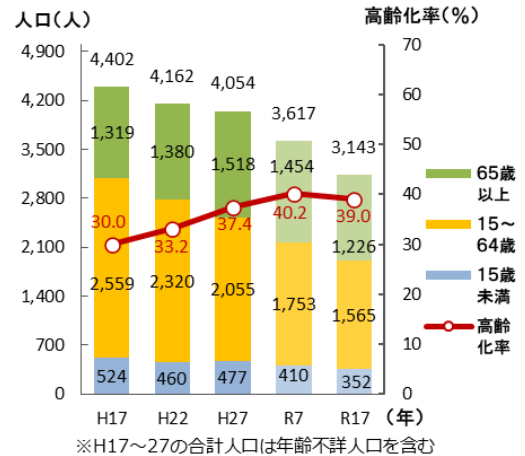


## 2-12. 三川内地域のまちづくり構想

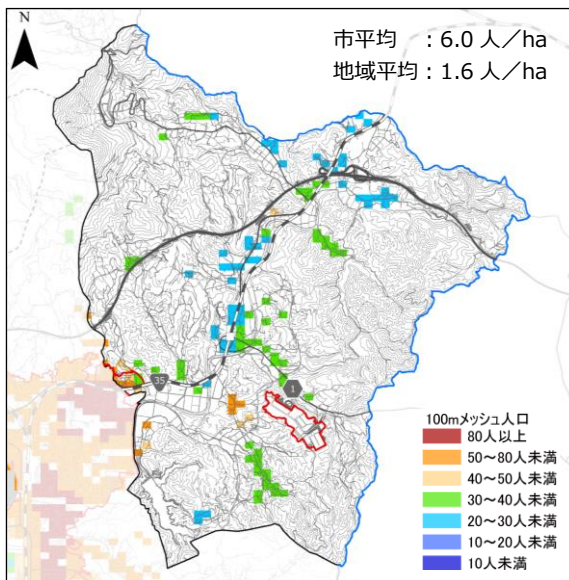
### (1) 地域の概況

- 三川内地域は、三川内支所管内を対象とした約 2,593ha の面積を有する地域です。
- 人口は、平成 27 年の国勢調査において 4,054 人で、平成 17 年と比べ約 8%減少しています。
- 国道 35 号 (202 号) 沿線や三河内駅周辺を中心に住宅の新築等がみられます。
- 高齢化率は 37.4% で、市平均を上回っています。

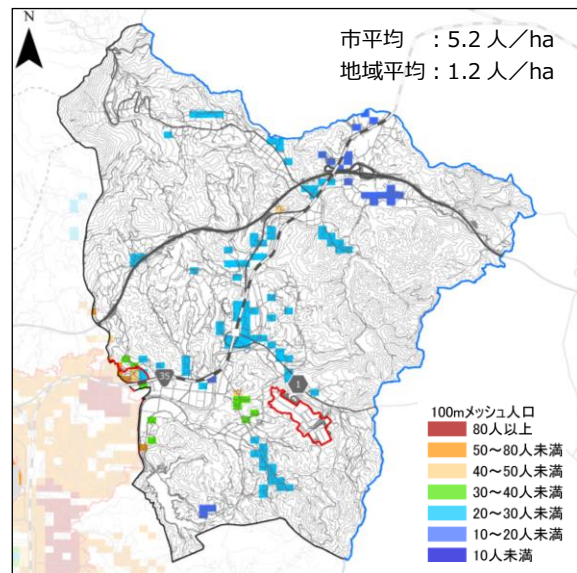
[人口推移及び年齢 3 区分人口比]



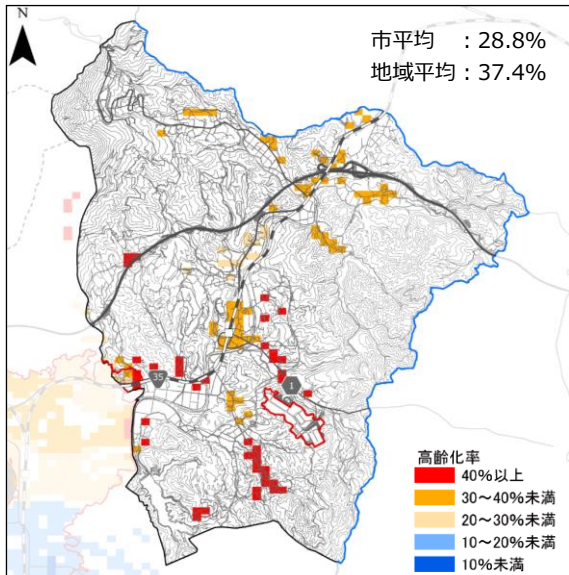
[人口密度 (H27)]



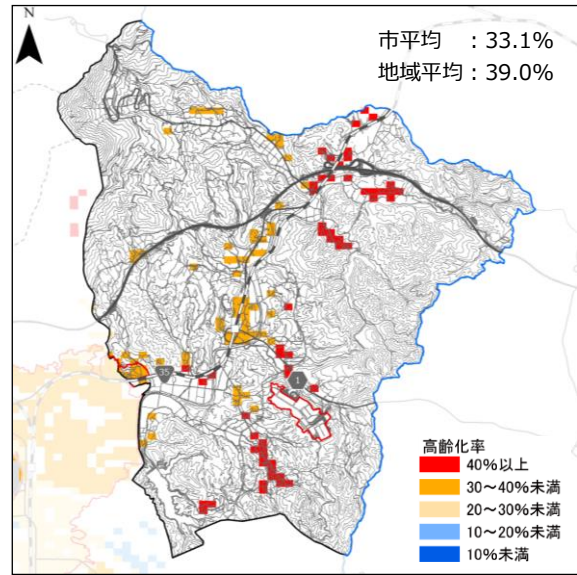
[人口密度 (R17)]



[高齢化率 (H27)]



[高齢化率 (R17)]



(出典 : 国勢調査)

※R17 (2035) は、国立社会保障・人口問題研究所(平成 30 年 3 月推計)に基づく。

## (2) 地域の特性と主要課題

## 地域の特性

- 当地域は、本市の東に位置し、有田方面からの玄関口となっています。
- 地域の中央には、小森川が流れ、平地が広がっています。また、鉄道と国道 35 号が地域を横断するように通っています。
- 三河内駅付近の国道沿いには、支所、地区コミュニティセンター、三川内焼伝統産業会館などの公共公益施設をはじめ、医療施設などの日常的な生活サービス機能が集積しています。
- 窯業と農業が盛んな地域で、三川内皿山、江永皿山、木原皿山の三皿山においては、伝統工芸品である三川内焼の生産が行われ、小森川沿いなどでは水稻をはじめとした農業が営まれています。
- 西九州自動車道佐世保三川内インターチェンジを有し広域交通の利便性が高く、佐世保テクノパークには企業の立地が進んでいます。

## 地域の主要課題

- 生活サービスの維持と災害リスクの低減  
当地域では、人口減少、高齢化の進行に伴い、小売店舗や医療施設、バス便数が減少しており、日常の買い物は早岐地域に集積している生活サービス機能を利用している状況です。今後は、三川内支所周辺の日常的な生活機能の維持とあわせ、地域内の移動手段の確保や公共交通機関の維持・利便性向上が求められます。また、点在する集落地は、土砂災害リスクの高いエリアに囲まれており、災害リスクの低減や集落環境とのバランスに配慮した土地利用の誘導が求められます。
- 特色ある地域資源を活かした地域内外との交流の増進への対応  
伝統工芸品の生産地である皿山の歴史的景観、豊かな自然などの地域資源を活かした地域内外との交流の増進が求められます。
- 地域産業の活性化による活力の創出への対応  
既存の窯業や農業といった産業や三河内駅、西九州自動車道佐世保三川内インターチェンジの交通の利便性を活かした産業と観光の連携による地域の活力の創出が求められます。

### (3) 地域の将来像とまちづくりの主な視点

#### 地域の将来像

伝統工芸品の三川内焼や地域独自の魅力を活かし、豊かな自然と調和した特色あるまちづくり

#### 地域の生活スタイル

- ・支所周辺の郊外生活核では身近な生活サービス施設や、既存施設を活かした地域コミュニティの場がある。
- ・地域内に加えて、早岐地域の多様な都市サービスを受けることができる。
- ・周辺の山、川の豊かな自然環境の近くでのゆとりある住まい、地域で支えあいながら、伝統産業に溶け込んだ住まいがある。
- ・農業や伝統工芸を活かして、地域内外の人がふれあい、交流する場がある。

#### 地域のまちづくりの主な視点

- 安全で快適な住みよいまちづくり  
地域の日常生活を支える生活サービス機能の維持にあわせ、地域のニーズや需要に見合った地域公共交通の維持などによって、安全で快適な住みよいまちづくりを目指します。
- 特色ある地域資源を活かした交流のまちづくり  
伝統工芸品である三川内焼や農業、小森川などの自然を活かした観光地域づくりなどを通じた交流のまちづくりを目指します。
- 伝統産業や既存ストックの有効利用による活力あるまちづくり  
地域の産業である窯業や農業とあわせ、佐世保テクノパークなどにおける企業活動、既存ストックの有効利用などによって、地域の活力を生み出すまちづくりを目指します。

## (4) 地域のまちづくり方針

## 地域におけるまちづくりの基本的方針

当地域は、三川内焼で知られる窯業と水稻をはじめとした農業、佐世保テクノパークにおける工業といった多様な産業が営まれています。

また、三皿山における歴史的な集落景観や小森川をはじめとした自然といった地域資源を有しています。

今後は、伝統工芸品である三川内焼をはじめとした地域の産業による活力を生み出し、あわせて自然環境と調和した個性豊かな交流を生み出すまちづくりを進めていくものとします。

## 地域のまちづくりの方針

● 安全で快適な住みよいまちづくり① 地域の日常生活を支える郊外生活核の形成

三川内支所周辺を郊外生活核として位置づけ、現状の都市機能の維持に努めるとともに、小さな拠点の形成を図ります。また、他の地域への移動を支える公共交通機関の維持・利便性向上を図ります。

② 安全で快適な移動を支える交通機能の維持・利便性向上

他の地域への公共交通機関の維持・利便性向上を図るとともに、地域内の移動手段の確保を図ります。

③ 安全でゆとりある居住環境の形成

災害危険性の高いエリアでの宅地化を抑制するとともに、地域が主体となった防災活動への支援を図ります。

● 特色ある地域資源を活かした交流のまちづくり④ 地域内外との交流に資する地域資源の保全と活用

皿山の落ち着きのある歴史的景観や小森川などの自然環境の保全を図るとともに、三川内焼伝統産業会館や特産品等販売施設などの施設の集積や、空き家等を活用するなど地域の魅力を活かした観光地域づくりにより地域内外との交流の促進を図ります。

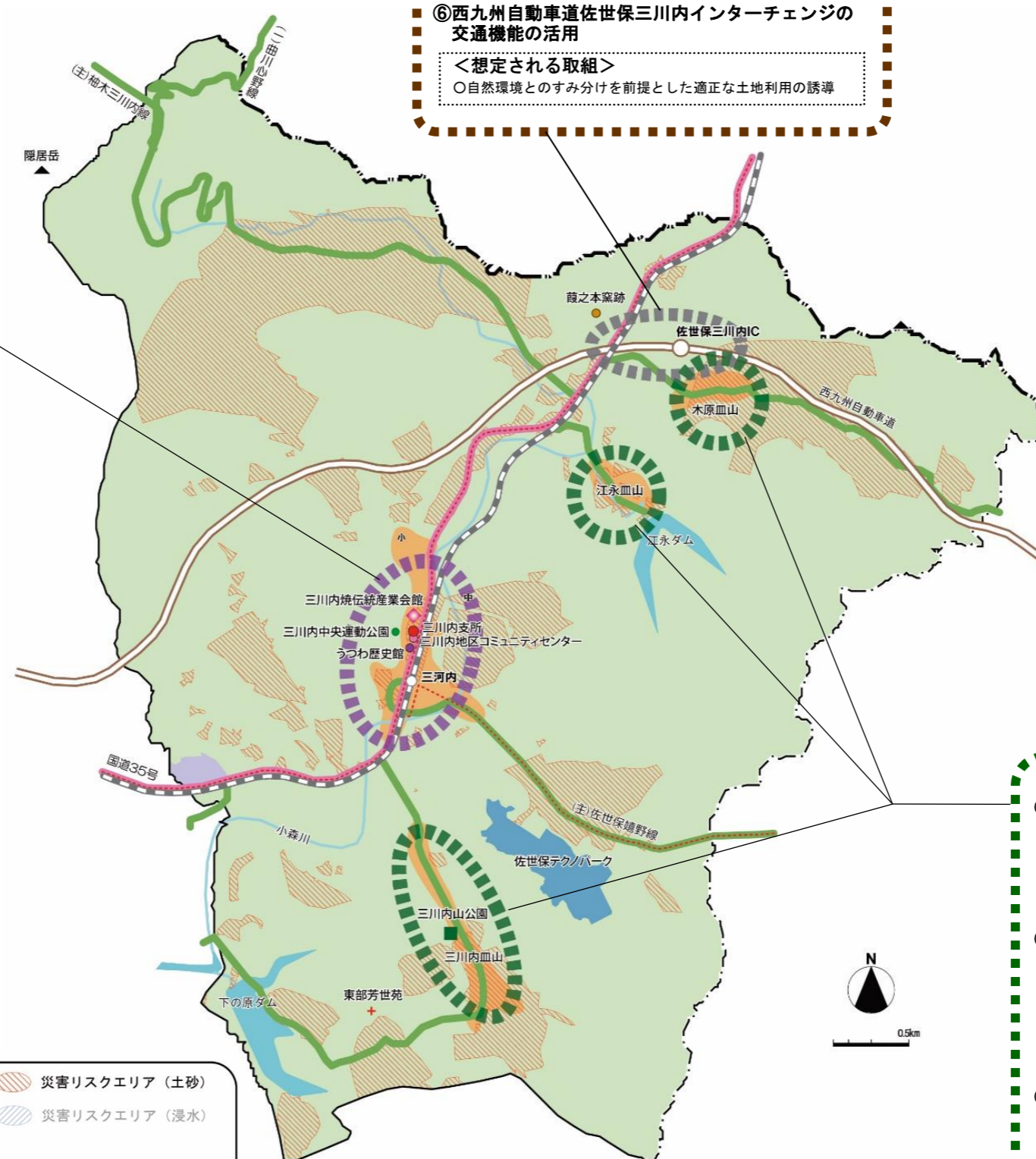
● 伝統産業や既存ストックの有効利用による活力あるまちづくり⑤ 窯業や農業、既存ストックの活用による活力の創出

伝統産業である窯業や農業の場の保全や、窯業・農業体験、宿泊の充実などによる地域の活力の創出を図ります。

⑥ 西九州自動車道佐世保三川内インターチェンジの交通機能の活用

西九州自動車道佐世保三川内インターチェンジの自動車交通の利便性を活かし、佐世保テクノパークやインターチェンジ周辺の低・未利用地については、既存の工業環境の維持を図るとともに、適正な土地利用の誘導を図ります。

# 三川内地域のまちづくり方針図



## 郊外生活核

**〈三川内支所周辺〉**  
**①地域の日常生活を支える郊外生活核の形成**  
 <想定される取組>  
 ○現状の都市機能の維持  
 ○小さな拠点の形成  
 ○公共交通機関の維持・利便性向上

**④地域内外との交流に資する地域資源の保全と活用**  
 <想定される取組>  
 ★既存の公共施設を交流の場として活用  
 ★地域の魅力を生かした観光地域づくり  
 ★空き家の利活用

**〈交通環境〉**  
**②安全で快適な移動を支える交通機能の維持・利便性向上**  
 <想定される取組>  
 ○地域内の円滑な移動を支える交通機能の確保  
 ○地域公共交通利用促進策の検討  
 ○安全な歩行空間の確保  
 ★地域公共交通の利用  
 ★道路沿いの花の植栽など憩い空間の創出

**〈佐世保テクノパーク〉**  
**⑥西九州自動車道佐世保三川内インターチェンジの交通機能の活用**  
 <想定される取組>  
 ○工業の利便性の増進

**〈佐世保三川内インターチェンジ周辺〉**  
**⑥西九州自動車道佐世保三川内インターチェンジの交通機能の活用**  
 <想定される取組>  
 ○自然環境とのすみ分けを前提とした適正な土地利用の誘導

**〈自然環境共有地〉**  
**④地域内外との交流に資する地域資源の保全と活用**  
 <想定される取組>  
 ○豊かな自然環境の保全  
 ★地域資源の再認識と共有化

**⑤窯業や農業、既存ストックの活用による活力の創出**  
 <想定される取組>  
 ○農地の保全  
 ★農業の体験など交流の場としての活用

**〈三川山〉**  
**③安全でゆとりある居住環境の形成**  
 <想定される取組>  
 ○災害危険性の高いエリアでの宅地化抑制  
 ★ハザード情報の共有など地域防災力の強化

**④地域内外との交流に資する地域資源の保全と活用**  
 <想定される取組>  
 ○三川山の特色ある集落景観の保全  
 ★訪れた人にわかりやすい情報案内の充実  
 ★周辺景観に調和した建築物などのデザイン

**⑤窯業や農業、既存ストックの活用による活力の創出**  
 <想定される取組>  
 ○窯業を活かした観光地域づくり拠点の形成  
 ★伝統工芸体験、農業体験など交流の場としての活用

**〈小森川、江永ダム〉**  
**④地域内外との交流に資する地域資源の保全と活用**  
 <想定される取組>  
 ○適切な河川の維持管理  
 ○ホテルなど野生動植物の生息環境の保全  
 ★花の植栽による憩い空間の形成

商業・業務地	市役所	高規格幹線道路	災害リスクエリア（土砂）
工業地	支所・行政センター	地域高規格道路	災害リスクエリア（浸水）
住商工共存地	コミュニティセンター	主要幹線道路	
住宅地（用途地域内）	教育・文化施設	主要な道路	
郊外住宅地（用途地域外）	小 小学校	鉄道	
自然環境共生地	中 中学校	国際航路	
保全すべき緑地	学 その他の主な学校	航路	
海岸	+ 保健福祉施設	基幹バスルート	
観光施設	● その他主な公共施設	河川	
特色ある公園	● 文化財・史跡		
主な公園			
主な運動施設			

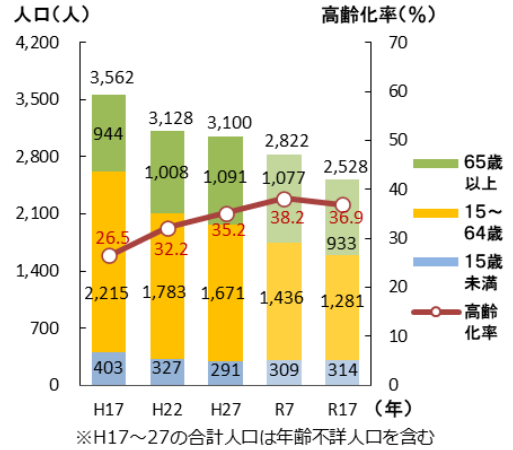
**凡例**  
 <想定される取組>  
 ★印は、主に地域や民間が主体となった取組が期待されるもの。

## 2-13. 宮地域のまちづくり構想

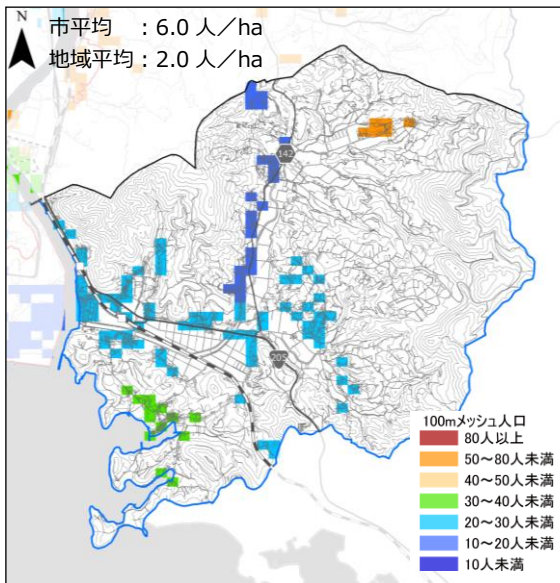
### (1) 地域の概況

- 宮地域は、宮支所管内を対象とした約 1,539ha の面積を有する地域です。
- 人口は、平成 27 年の国勢調査において 3,100 人で、平成 17 年と比べ約 13%減少しています。
- 人口密度は市平均を下回っています。
- 高齢化率は 35.2%で、市平均を上回っています。

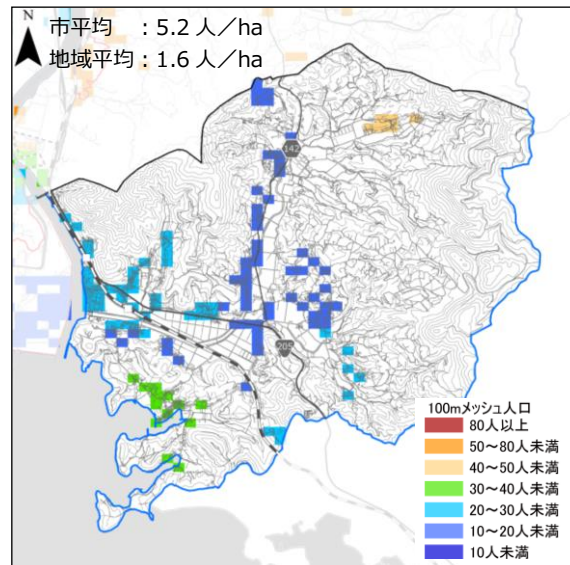
[人口推移及び年齢3区分人口比]



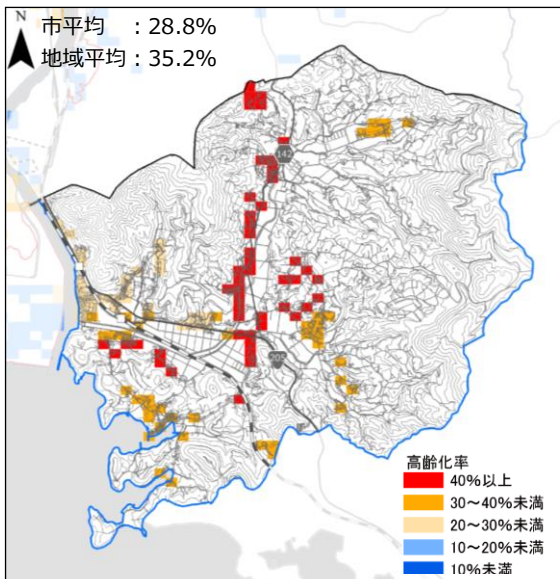
[人口密度 (H27)]



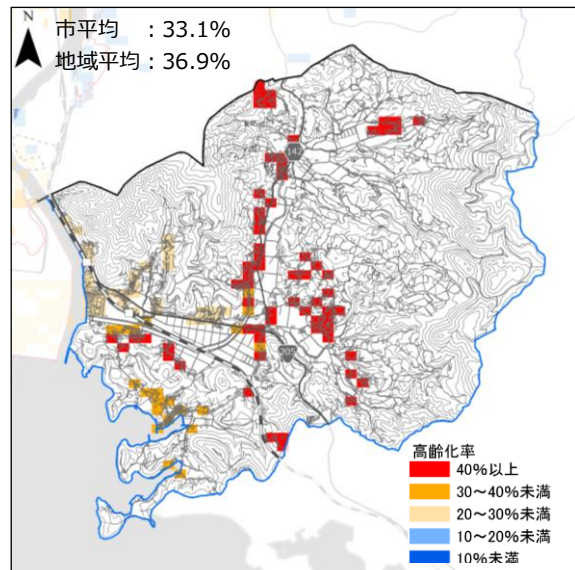
[人口密度 (R17)]



[高齢化率 (H27)]



[高齢化率 (R17)]



(出典：国勢調査)

※R17 (2035) は、国立社会保障・人口問題研究所(平成 30 年 3 月推計)に基づく。



## (2) 地域の特性と主要課題

## 地域の特性

- 当地域は、川棚町と隣接しており、東彼杵方面からの玄関口となっています。
- 地域を南北に宮村川が流れており、八幡岳からは、大村湾や市街地の景色を望むことができます。
- 南風崎駅とハウステンボス駅を有しており、南風崎駅から宮支所周辺にかけて医療福祉施設や集落などが集積しています。
- 農業と漁業が営まれており、比較的なだらかな平地では水稲栽培が行われ、斜面地にかけては西海みかんの生産が行われています。

## 地域の主要課題

● 居住環境の充実と災害リスクの低減

当地域は、人口減少、高齢化の進行に伴い、小売店舗や医療施設、バス便数が減少しており、買い物など日常生活において、隣接する早岐地域の生活サービス機能を利用している状況です。今後は、宮支所周辺の日常的な生活サービス機能の維持とあわせ、地域内の移動手段の確保や公共交通機関の維持・利便性向上などによる居住環境の充実が求められます。

市街化調整区域での宅地化が進行する一方で、地域中心部を含め土砂災害や浸水被害など災害リスクの高いエリアが面的に広がっており、災害リスクの低減や集落環境とのバランスに配慮した土地利用の誘導が求められます。

● 地域資源や豊かな自然を活かした地域外との交流の活性化

当地域が有する無窮洞などの歴史文化資源や八幡岳、宮村川などの豊かな自然を守り、活かした地域内外との交流の活性化が求められます。

● 農水産業を活かした活力の創出

当地域は、農業や漁業が主な産業となっています。これらの地域産業を守り、活かした体験型の交流などによって地域の活力を高めていくことが求められます。

### (3) 地域の将来像とまちづくりの主な視点

#### 地域の将来像

無窮洞などの歴史文化を守り活かし、  
豊かな自然と調和したまちづくり

#### 地域の生活スタイル

- ・支所周辺の郊外生活核では身近な生活サービス施設や、既存施設を活かした地域コミュニティの場がある。
- ・周辺の農地、川の豊かな自然環境の近くでのゆとりある住まい、地域で支えあいながら、農業と調和した住まいがある。
- ・自家用車利用で、早岐地域の多様な都市サービスを受けることができる。
- ・農業や歴史資源を活かして、地域内外の人がふれあい、交流する場がある。

#### 地域のまちづくりの主な視点

- 安全で快適な住み続けられるまちづくり  
集落コミュニティを維持するための適正な宅地誘導を図りながら、地域の日常生活を支える郊外生活核の形成と、地域のニーズや需要に見合った地域公共交通の維持などによって、安全で快適に暮らせるまちづくりを目指します。
- 特色ある地域資源を活かした交流のまちづくり  
無窮洞などの歴史文化資源や豊かな自然を守り、活かすことで地域外との交流を促進するまちづくりを目指します。
- 農水産業を活かした活力のあるまちづくり  
地域の産業を支える農業や水産業の場となる農地や漁業環境を守り、それらを活かした活力のあるまちづくりを目指します。

## (4) 地域のまちづくり方針

### 地域におけるまちづくりの基本的方針

当地域は、八幡岳や宮村川といった自然に囲まれており、農業と漁業が営まれています。また、無窮洞や梅ヶ枝酒造には多くの方が訪れています。

今後は、居住環境の維持・向上を図り住みやすいまちづくりとあわせ、地域資源を守り活かした地域外との交流によって活力を創出し魅力あるまちづくりを進めていくものとします。

### 地域のまちづくりの方針

#### ● 安全で快適な住み続けられるまちづくり

##### ①地域の日常生活を支える郊外生活核の形成

宮支所周辺を郊外生活核として位置づけ、現状の都市機能の維持に努めるとともに、既存の公共公益施設の集積を活かした小さな拠点の形成を図り、地域内交流の場としての活用を図ります。

##### ②安全で快適な移動を支える交通機関の維持・利便性向上

他の地域への公共交通機関の維持・利便性向上を図るとともに、地域内の移動手段の確保を図ります。

##### ③安全でゆとりある居住環境の形成

災害危険性の高いエリアでの宅地化を抑制するとともに、地域が主体となった防災活動への支援を図ります。

#### ● 特色ある地域資源を活かした交流のまちづくり

##### ④地域内外からの交流に資する地域資源の活用

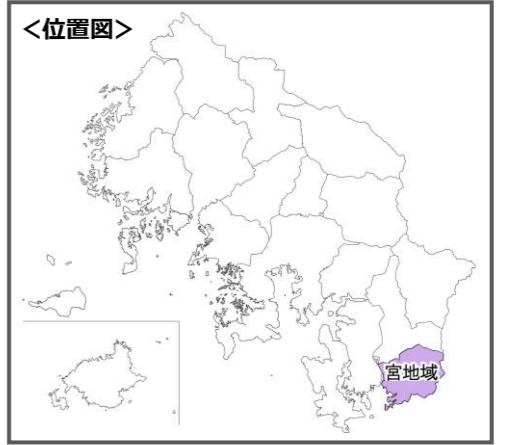
無窮洞などの特色ある歴史文化資源や良好な眺望を有する八幡岳などの自然環境の保全を図るとともに、ハウステンボスと連携した取組などによって地域内外の交流の場としての活用を図ります。

#### ● 農水産業を活かした活力のあるまちづくり

##### ⑤農水産業を活かした活力の創出

農水産物の生産の場となっている農地や漁業環境の保全を図ります。また、これらを活かした体験型の交流などによる地域の活力の創出を図ります。

# 宮地域のまちづくり方針図



**郊外生活核**

**<宮支所周辺>**

①地域の日常生活を支える郊外生活核の形成

<想定される取組>

- 現状の都市機能の維持
- 小さな拠点の形成
- 地域内の円滑な移動を支える交通機能の充実
- ★地域内交流の場としての活用

④地域内外からの交流に資する地域資源の活用

<想定される取組>

- 無窮洞や歴史的建造物の保全
- ★地域資源の情報案内

**<集落地>**

③安全でゆとりある居住環境の形成

<想定される取組>

- 災害危険性の高いエリアでの宅地化抑制
- ★ハザード情報の共有など地域防災力の強化

②安全で快適な移動を支える交通機能の維持・利便性向上

<想定される取組>

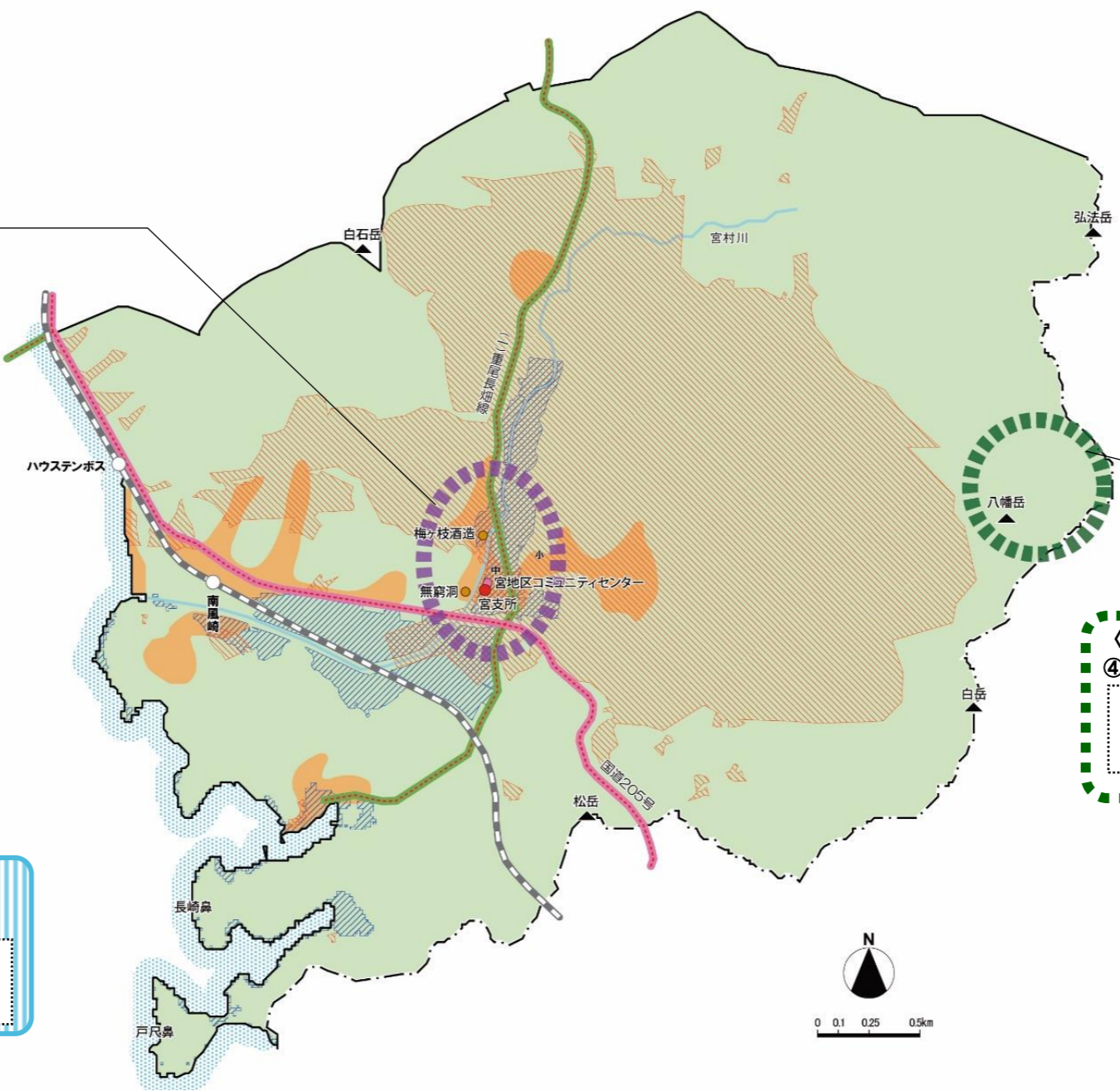
- 地域公共交通利用促進策の検討
- ★地域公共交通の利用

**<海岸線>**

⑤農水産業を活かした活力の創出

<想定される取組>

- 漁業環境の保全
- ★漁業体験による地域の活力の創出



**<八幡岳周辺>**

④地域内外からの交流に資する地域資源の活用

<想定される取組>

- 周辺の自然景観の保全
- ★登山道の維持

**<自然環境共生地>**

④地域内外からの交流に資する地域資源の活用

<想定される取組>

- 弘法岳などの自然環境の保全
- ★ハウステンボスと連携した地域内外の交流の場の創出
- ★地域資源を回遊するウォーキングコースの設定

⑤農水産業を活かした活力の創出

<想定される取組>

- 西海みかんなどの生産の場となる農地の保全
- ★農業体験等による地域活力の創出

**<宮村川>**

④地域内外からの交流に資する地域資源の活用

<想定される取組>

- ホテルなど野生動植物の生息環境の保全
- ★花の植栽などによる憩い空間の創出

商業・業務地	市役所	高規格幹線道路	災害リスクエリア（土砂）
工業地	支所・行政センター	地域高規格道路	災害リスクエリア（浸水）
住商共存地	コミュニティセンター	主要幹線道路	
住宅地（用途地域内）	教育・文化施設	主要な道路	
郊外住宅地（用途地域外）	小 小学校	鉄道	
自然環境共生地	中 中学校	国際航路	
保全すべき緑地	学 その他の主な学校	航路	
海岸	+ 保健福祉施設	基幹バスルート	
観光施設	● その他の主な公共施設	河川	
特色ある公園	● 文化財・史跡		
主な公園			
主な運動施設			

**凡例**

<想定される取組>

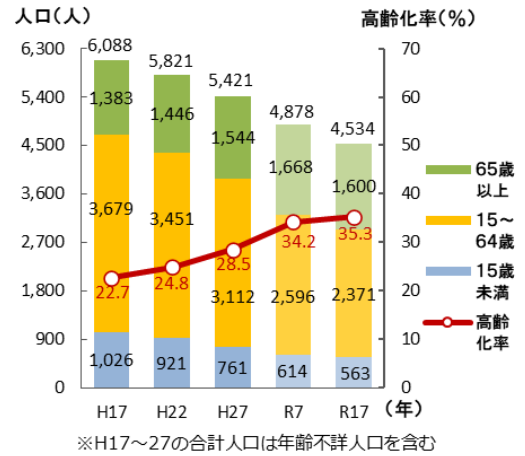
★印は、主に地域や民間が主体となった取組が期待されるもの。

## 2-14. 吉井地域のまちづくり構想

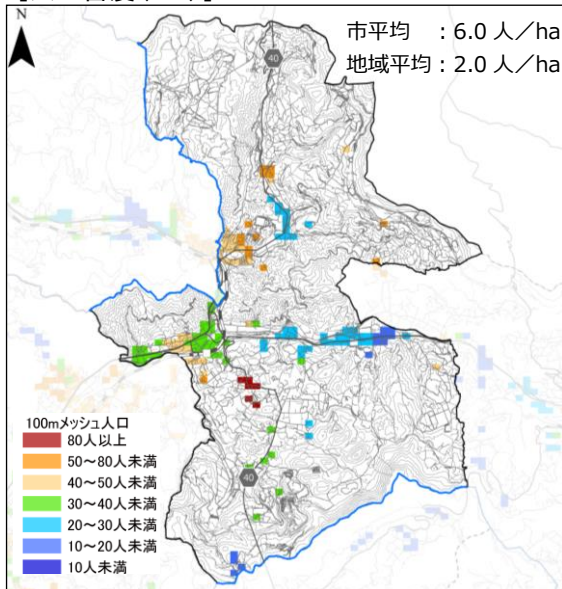
### (1) 地域の概況

- 吉井地域は、吉井支所管内を対象とした約 2,704ha の面積を有する地域です。
- 人口は、平成 27 年の国勢調査において 5,421 人で、平成 17 年と比べ約 11%減少しています。
- 吉井駅周辺や直谷地区の国道沿いにおいては人口密度が高い状況です。
- 高齢化率は 28.5%で、市平均とほぼ同じです。

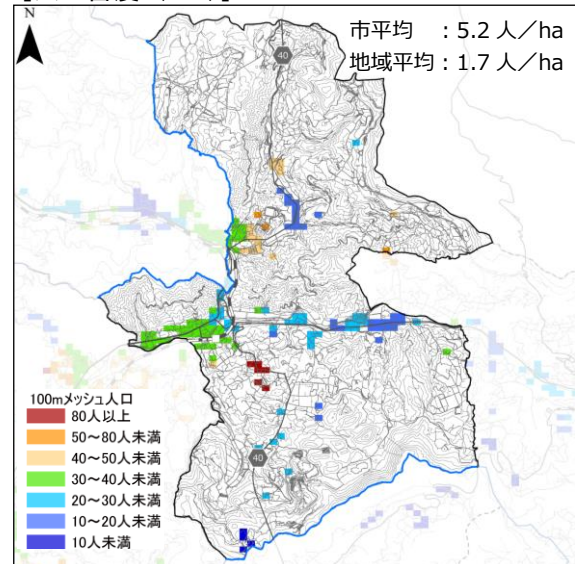
[人口推移及び年齢3区分人口比]



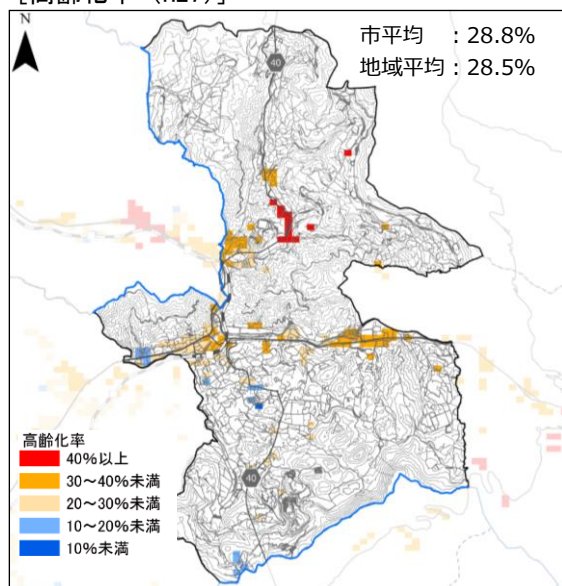
[人口密度 (H27)]



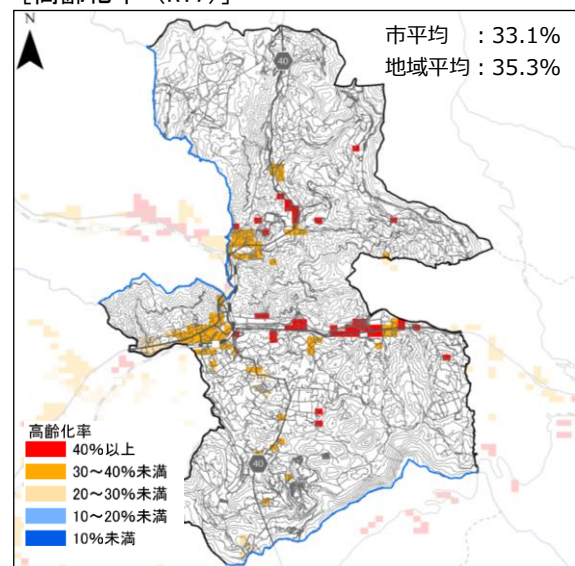
[人口密度 (R17)]



[高齢化率 (H27)]



[高齢化率 (R17)]



(出典：国勢調査)

※R17 (2035) は、国立社会保障・人口問題研究所(平成 30 年 3 月推計)に基づく。

## (2) 地域の特性と主要課題

## 地域の特性

- 北松県立公園に指定されている牧ノ岳や地域の中心を流れる佐々川といった豊かな自然と福井洞窟や直谷城跡、石橋群といった歴史文化を有する地域です。
- 国道 204 号沿いから吉井駅付近には支所をはじめ公共公益施設が立地しています。
- 妙観寺トンネルによって、中里皆瀬地域への交通アクセスが便利であり、松浦市や江迎地域から中心市街地に向けた交通結節点となっています。
- イチゴ、メロンなどの農産物の生産が盛んであり、また御橋工業団地が稼働し、活力を創出する企業の立地が進んでいます。

## 地域の主要課題

● 居住環境の充実と災害リスクの低減

当地域は、人口減少及び高齢化が進行している一方、日常の買物をはじめとした日常生活行動において、地域内を主な行き先としていますが、隣接する佐々町や松浦市の生活サービス機能も利用している状況です。公共交通機関利用のしやすさは、重要度が高くかつ満足度が低いものとなっており、今後は、日常的な生活サービス機能の維持をはじめ、公共交通機関の維持・利便性向上、地域内の移動手段の確保などによって快適な居住環境の充実が求められます。また、当地域の集落地は土砂災害や河川の氾濫による浸水などの災害危険性の高いエリアがあり、防災対策が求められます。

● 地域資源を活かした地域内外との交流の活性化

福井洞窟などの歴史文化資源や豊かな自然を活かし、憩い空間の創出や地域内外との交流の活性化が求められます。

● 地域の農業や新たな雇用の場を活かした地域の活力の創出

当地域は、働く場が身近にあることへの重要度が高くかつ満足度が低い地域であり、イチゴやメロンなどの特産品を有する農業や御橋工業団地などの産業の場を活かした地域の活力の創出が求められます。

### (3) 地域の将来像とまちづくりの主な視点

#### 地域の将来像

佐々川の清流と緑豊かな山々に抱かれた  
歴史と自然の魅力あふれるまちづくり

#### 地域の生活スタイル

- ・支所周辺の郊外生活核では身近な生活サービス施設や、既存施設を活かした地域コミュニティの場がある。
- ・周辺の農地、川の豊かな自然環境の近くでのゆとりある住まい、地域で支えあいながら、農業と調和した住まいがある。
- ・自家用車利用で、隣接市町と連携し、多様な都市サービスを受けることができる。
- ・農業や歴史資源を活かして、地域内外の人がふれあい、交流する場がある。

#### 地域のまちづくりの主な視点

- 安全で快適なゆとりあるまちづくり  
地域の日常生活を支える郊外生活核の形成と地域のニーズや需要に見合った地域公共交通の確保などによって、安全で、快適なゆとりあるまちづくりを目指します。
- 地域資源を活かした交流のまちづくり  
福井洞窟などの歴史文化資源や佐々川をはじめとした自然環境を守り、活かしたツーリズムなどによる地域内外との交流を促進するまちづくりを目指します。
- 農業と産業の立地による活力のあるまちづくり  
農業の活性化や工業団地など産業基盤の経済活動によって、地域の活力を生み出すまちづくりを目指します。

## (4) 地域のまちづくり方針

## 地域におけるまちづくりの基本的方針

当地域は、福井洞窟をはじめとした歴史文化資源や牧ノ岳、佐々川といった豊かな自然環境など、誇るべき地域資源を有しています。

今後は、イチゴなどの生産が盛んな農業や御橋工業団地への企業立地などによって、地域の活力を高めながら、地域の歴史文化や自然と調和した魅力あふれるまちづくりを進めていくものとします。

## 地域のまちづくりの方針

## ● 安全で快適なゆとりあるまちづくり

## ① 地域の日常生活を支える郊外生活核の形成

吉井駅や吉井支所周辺を郊外生活核として位置づけ、現状の都市機能の維持に努めるとともに、小さな拠点の形成を図ります。また、他の地域への安全で円滑な移動を支える道路の改善や公共交通機関の維持・利便性向上を図るとともに、地域内の移動手手段の確保を図ります。

## ② 集落地における生活基盤の維持・向上

集落地においては、地域内の移動手手段の確保を図り、親水性のある公園などは、地域の憩い空間としての活用を図ります。

## ③ 安全でゆとりある居住環境の形成

災害危険性の高いエリアの把握と周知を図り、安全な場所への居住を促進します。また、地域が主体となった防災活動への支援を図ります。利用可能な空き家などの活用により地域の維持・再生につなげます。

## ● 地域資源を活かした交流のまちづくり

## ④ 地域資源を守り活かした地域内外との交流の促進

福井洞窟や直谷城跡、石橋群などの歴史文化資源、牧ノ岳や佐々川、五蔵岳一帯の自然環境の保全を図るとともに、ツーリズムなどによる地域内外の交流の場としての活用を図ります。

## ● 農業と産業の立地による活力あるまちづくり

## ⑤ 農業を活かした活力の創出

イチゴやメロンの生産の場となっている農地の保全を図るとともに、農業体験などによる地域の活力の創出への活用を図ります。



# 吉井地域のまちづくり方針図

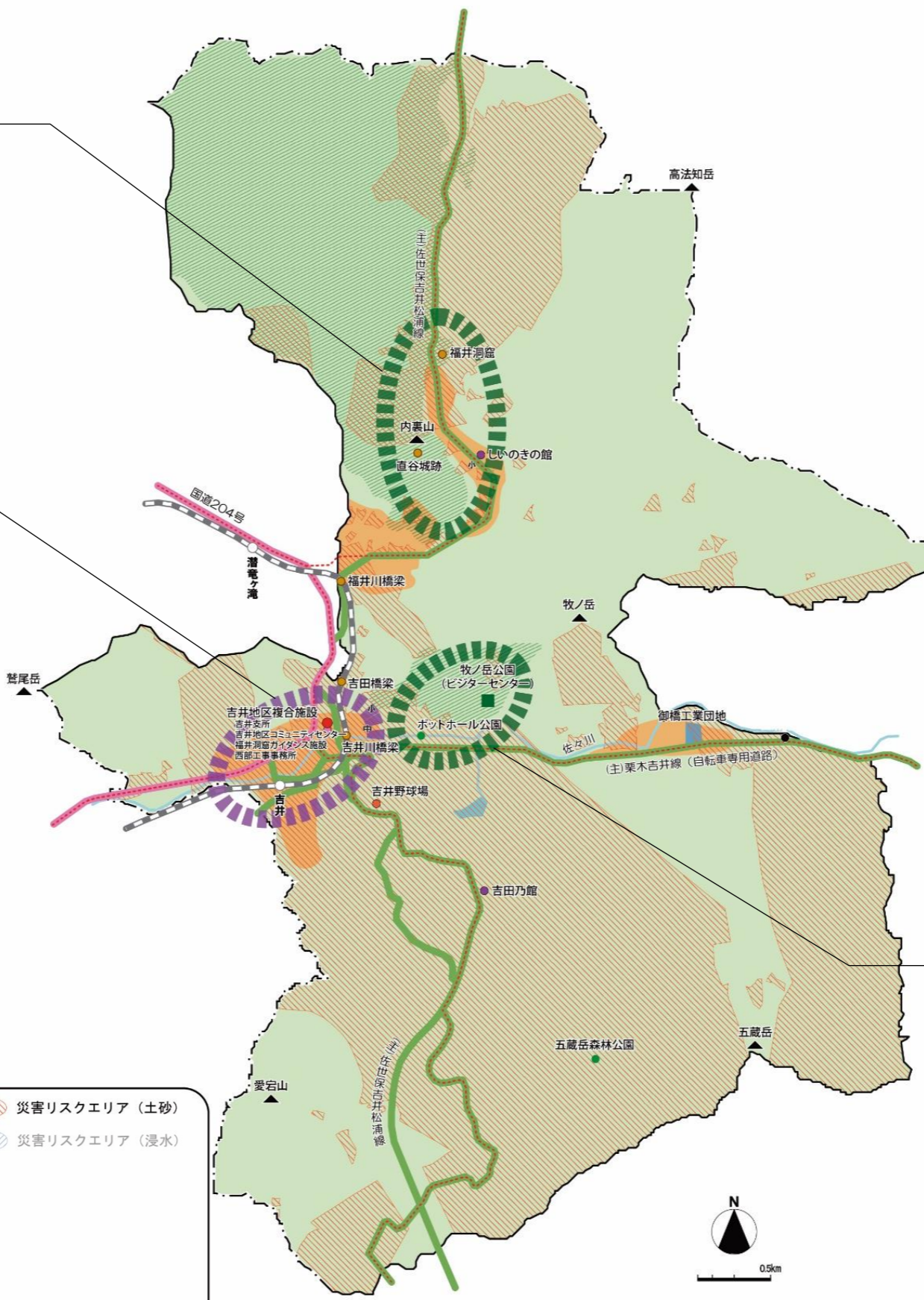


**<福井洞窟、直谷城跡周辺>**  
 ④地域資源を守り活かした地域内外との交流の促進  
 <想定される取組>  
 ○福井洞窟や直谷城跡など歴史文化資源の保全  
 ★歴史文化資源を巡るコースの設定

**郊外生活核**

**<吉井駅～支所周辺>**  
 ①地域の日常生活を支える郊外生活核の形成  
 <想定される取組>  
 ○現状の都市機能の維持  
 ○小さな拠点の形成  
 ○地域内の円滑な移動を支える交通機能の充実  
 ○公共交通機関の維持・利便性向上  
 ★花の植栽など地域の顔にふさわしい憩い空間の創出  
 ★地域資源の情報案内  
 ★郊外生活核活性化の検討

**<集落地>**  
 ②集落地における生活基盤の維持・向上  
 <想定される取組>  
 ○松浦方面への交通アクセス改善策の検討  
 ○地域公共交通利用促進策の検討  
 ★地域公共交通の利用  
 ★親水性のある公園など地域の憩い空間としての活用  
 ③安全でゆとりある居住環境の形成  
 <想定される取組>  
 ○災害危険性の高いエリアの把握と周知  
 ★ハザード情報の共有など地域防災力の強化



**<自然環境共生地>**  
 ⑤農業を活かした活力の創出  
 <想定される取組>  
 ○農地の保全  
 ★イチゴ・メロンなど特産加工品の開発  
 ★農業体験の場としての活用

④地域資源を守り活かした地域内外との交流の促進  
 <想定される取組>  
 ○牧の岳、五蔵岳などの自然環境の保全  
 ★ツーリズムやレクリエーションの場としての活用  
 ★サイクリング道路沿いの植栽など憩い空間の創出

**<牧ノ岳一帯>**  
 ④地域資源を守り活かした地域内外との交流の促進  
 <想定される取組>  
 ○公園や遊歩道の維持・管理  
 ★他の公園と連携した散策ルートの設定

**<佐々川とその沿岸部>**  
 ④地域資源を守り活かした地域内外との交流の促進  
 <想定される取組>  
 ○ボットホール公園の維持・管理  
 ★カヌーなどのレクリエーションの場としての活用

商業・業務地	市役所	高規格幹線道路	災害リスクエリア（土砂）
工業地	支所・行政センター	地域高規格道路	災害リスクエリア（浸水）
住商共存地	コミュニティセンター	主要幹線道路	
住宅地（用途地域内）	教育・文化施設	主要な道路	
郊外住宅地（用途地域外）	小 小学校	鉄道	
自然環境共生地	中 中学校	国際航路	
保全すべき緑地	学 その他の主な学校	航路	
海岸	+ 保健福祉施設	基幹バスルート	
観光施設	● その他主な公共公益施設	河川	
特色ある公園	● 文化財・史跡		
主な公園			
主な運動施設			

**凡例**  
 <想定される取組>  
 ★印は、主に地域や民間が主体となった取組が期待されるもの。